様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	洛和会京都看護学校
設置者名	学校法人洛和学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	１０	１０	
	助産学科	夜・通信	４	４	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページの修学支援新制度ページに掲載 https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/examination/fee/#scholarship

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	洛和会京都看護学校
設置者名	学校法人洛和学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページの修学支援新制度ページに掲載 https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/examination/fee/#scholarship

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	社会福祉法人　理事	2026.6.11 ～2031 年定時評議員会終結の時	運営体制のチェック機能
非常勤	医療法人　事務職員	2026.6.11 ～2031 年定時評議員会終結の時	運営体制のチェック機能
（備考）			

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	洛和会京都看護学校
設置者名	学校法人洛和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ○カリキュラムの実施状況については、学科のカリキュラム会議を月１回開催して内容・方法・進度を確認している。 ○12 月には集中ミーティング及び学科会議にて次年度講師を決定し、専任教員と外部講師が１月末までにシラバスを作成する。 ○全科目のシラバスを整理し、２月末までに「学習要項」「実習要項」をまとめる。 ○シラバスには、科目ごとの配当時期、単位数、時間数、講師名、学習目標、回数、学習項目、学習方法、テキスト、試験方法、配点、試験時間及び実務家教員の有無を記載している。 ○実習要項には実習の目的、目標、規準、計画、学習過程と評価計画、実習記録、実習評価表などを記載している、 ○作成したシラバスは、学生、教員、実習指導者に配布する。

授業計画書の公表方法	学籍管理システム内にて公表

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ○成績評価については、講義は学科試験及びレポートにより、臨地実習については実習評価表により行っている。 ○学科試験は授業時間の三分の二以上出席した者が、受験資格を有する。 ○臨地実習は実習時間の三分の二以上を出席した者に対し、実習内容を総合して成績を評価する。 ○各科目の成績はＳＡＢＣＤの５段階で評価し、Ｄは不合格とする。 ○なお、シラバスに筆記試験、レポート課題の点数配分を明記している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ○履修科目の成績は、すべて点数化し、履修すべき全科目について、S（90 点以上）、A（80 点以上）、B（70 点以上）、C（60 点以上）、D（60 点未満）の 5 段階で評価し、Dは単位未認定（不合格）としている。 ○単位未認定科目は次年度以降に履修することができる。 ○学年の平均点や下位四分の一の該当者を把握し、点数ごとの分布表や、令和 5 年度からは GPA も導入しながら成績管理している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学籍管理システム内の「学生便覧」に記載
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ○1 月末に学校運営会議を開催し卒業認定を行っている。 ○授業科目、行事及び特別教育活動を履修するために必要な日数を、出席すべき日数としている。 ○既習科目の認定を受け、出席する必要のない時間あるいは日については欠課時間あるいは欠席日として計上しない。 ○卒業認定を受けた者には専門士の称号を付与している。（看護学科） ○学納金の未納者は、卒業の認定を受けることができない。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学籍管理システム内の「学生便覧」に記載

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	洛和会京都看護学校
設置者名	学校法人洛和学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページ内の【学校案内】ページ内の［財務状況］項目にて公表している。 https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/about/
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	看護学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	107単位	84単位		23単位		
			107単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240人	250人	人	12人	8人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○カリキュラムの実施状況については､学科のカリキュラム会議を月１回開催して内容・方法・進度を確認している。 ○実習については各病院との臨床指導者会議を開催し、実習内容、目標、評価方法に係る事項を設定し、周知している。 ○夏季・冬季の集中ミーティング及び学科会議、カリキュラム会議にて教育活動の振り返りを行い、次年度の指導案の改善を検討・策定している。また、次年度講師を決定し、専任教員と外部講師が１月末までにシラバスを作成する。 ○全科目のシラバスを整理し、２月末までに「学習要項」「実習要項」「学生便覧」をまとめる。 ○シラバスには、科目名、単元名、配当時間、単位数、時間数、講師名、学習目標、回数、学習項目、学習内容、学習方法、テキスト、単位認定方法、配点、試験時間及び実務経験教員を記載している。 ○実習要項には実習の目的、目標、規準、計画、学習過程と評価計画、評価の観点、評価資料、評価基準、実習記録、実習評価表などを記載している。 ○学生便覧には本校の教育理念、目的、目標、学則、各種規程、教育課程、学生生活

の注意事項を記載している。 ○作成した学習要項、学生便覧は、学生、専任教員、外部講師へ、実習要項は実習施設実習病棟、臨地実習指導者に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） ○講義は学科試験（レポート試験を含む）、臨地実習については実習評価表により行う。 ○学科試験は、本校で定められた科目を受講し、当該科目の授業時間の三分の二以上出席した者に対し、実施内容を総合して成績を評価する。 ○各科目の成績はＳ（90 点以上）、Ａ（80 点以上）、Ｂ（70 点以上）、Ｃ（60 点以上）、Ｄ（60 点未満）の 5 段階で評価し、Ｄは単位未認定（不合格）とする。 ○なお、単位未認定科目は次年度以降に履修することができる。
卒業・進級の認定基準
（概要） ○３月中旬に進級に必要とされる単位習得状況を確認し学校運営会議（進級判定会議）にて進級を決定する。 ○単位は各科目で単位習得に必要な時間数を満たした者、試験等に合格した者には学校運営会議を経て所定の単位を与えている。 ○卒業判定は、1 月下旬に卒業に必要とされている単位習得状況を確認し、学校運営会議にて卒業が決定される。 ○学納金の未納者は、卒業の認定を受けることができない。
学修支援等
（概要） ○チューター制を設け、担当グループにより細やかな指導を行う。 ○学年運営以外に縦割りクラスを採用し、１年２年３年と病棟担当者、教員が１グループとなり、学年を超えて学生の学習・実習への相談・助言・援助を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
78 人 （100%）	2 人 （　2.6%）	73 人 （　93.6%）	3 人 （　3.8%）
（主な就職、業界等） ○洛和会音羽病院、洛和会丸太町病院、洛和会リハビリテーション病院、洛和会音羽記念病院　ほか			
（就職指導内容） ○３年次に就職ガイダンスを行うとともに個別に就職に関する相談を随時行っている。 ○学校に届く求人情報や就職イベント情報を常置し、いつでも情報を得られるようにしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ○看護師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
253 人	11 人	4.3%
（中途退学の主な理由） ○看護師以外への進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ○学内で学生の情報を共有し、適宜指導・助言を行うとともに、メンタルヘルス支援としてストレスチェックアンケートを実施し、その結果に基づき公認心理師によるカウンセリングを実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	助産学科					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	32 単位	21 単位		11 単位			
			32 単位					

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20 人	21 人	人	3 人	1 人	4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○実習については各病院との臨床指導者会議を開催し、実習内容、目標、評価方法に係る事項を設定し、周知している。 ○カリキュラム会議にて教育活動の振り返りを行い、次年度の指導案の改善を検討・策定している。また、次年度講師を決定し、専任教員が中心となって1月末までにシラバスを作成する。 ○シラバスには、科目名、単元名、配当時間、単位数、時間数、講師名、学習目標、回数、学習項目、学習内容、学習方法、テキスト、単位認定方法、配点、試験時間及び実務経験教員を記載している。 ○実習要項には実習の目的、目標、規準、計画、学習過程と評価計画、評価の観点、評価資料、評価基準、実習記録、実習評価表などを記載している。 ○学生便覧には本校の教育理念、目的、目標、学則、各種規程、教育課程、学生生活の注意事項を記載している。 ○作成した学習要項、学生便覧は、学生、専任教員、外部講師へ、実習要項は実習施設実習病棟、臨地実習指導者に配布・配信している。
成績評価の基準・方法
（概要） ○講義は学科試験（レポート試験を含む）により、臨地実習については実習評価表により行う。 ○学科試験は、本校で定められた科目を受講し、当該科目の授業時間の三分の二以上出席した者に対し、実施内容を総合して成績を評価する。

○各科目の成績はＳ（90 点以上）、Ａ（80 点以上）、Ｂ（70 点以上）、Ｃ（60 点以上）、Ｄ（60 点未満）の 5 段階で評価し、Ｄは単位未認定（不合格）とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）
○１月中旬に進級に必要とされる単位習得状況を確認し卒業判定会議にて卒業の可否を決定する。
○単位は各科目で単位習得に必要な時間数を満たした者､試験等に合格した者には学校運営会議を経て所定の単位を与える。

学修支援等

（概要）
○放課後残っての学習支援や、技術習得支援の実施。
○学年運営以外に縦割りクラスを採用し、臨床スタッフと教員が１グループとなり、学校の枠を超えて学生の学習・実習への相談・助言・援助を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
20 人（100%）	0 人（ 0%）	20 人（ 100%）	0 人（ %）

（主な就職、業界等）
○洛和会音羽病院、足立病院、京都市立病院、宇治徳洲会病院、兵庫医科大学病院、りんくう総合医療センター、旭川厚生病院、広島大学病院　ほか

（就職指導内容）
○就職ガイダンスを行うとともに個別に就職に関する相談を随時行っている。
○入学当初から助産師の就職の厳しさを周知

（主な学修成果（資格・検定等））
○助産師国家試験受験資格
○新生児蘇生法（NCPR）
○受胎調節指導員

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	350,000 円	480,000 円	600,000 円	その他内訳） 施設協力費　350,000 円 実習料　250,000 円
助産学科	350,000 円	580,000 円	470,000 円	施設協力費　120,000 円 実習料　350,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/about/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
○本校教職員の自己評価結果を受け、学生の実習先で指導に当たられた関係者、本校の卒業生、学校法人の評議員ら 4 名を本校学校評価における関係者評価委員として委嘱し、自己評価の妥当性、外部からの客観性を確保する視点から本校教育活動及び学校運営に係る改善点について具申いただいている。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人洛和学園評議員	2026 年 6 月 8 日～2027 年 3 月 31 日	評議員
洛和会京都看護学校同窓会長	2026 年 6 月 8 日～2027 年 3 月 31 日	卒業生
洛和会音羽病院看護部長	2026 年 6 月 8 日～2027 年 3 月 31 日	実習先
洛和会子ども未来事業部経営管理部長	2026 年 6 月 8 日～2027 年 3 月 31 日	実習先
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/about/		
（備考）		
第三者評価未実施のため学校関係者評価の結果を公表している。 第三者評価の実施時期は未定。		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://rakuwa-nursingschool.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H126310000327
学校名（○○大学 等）	洛和会京都看護学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人洛和学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		51人（ 25 ）人	51人（ 26 ）人	53人（ 26 ）人
内訳	第Ⅰ区分	17人	17人	
	（うち多子世帯）	（ — 人）	（ — 人）	
	第Ⅱ区分	— 人	— 人	
	（うち多子世帯）	（ — 人）	（ — 人）	
	第Ⅲ区分	— 人	— 人	
	（うち多子世帯）	（ — 人）	（ — 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	— 人	— 人	
	区分外（多子世帯）	13人	12人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				53人（ 26）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	― 人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	― 人	0人	0人
（備考） 右以外の大学等：看護学科について記載 専門学校修業年限2年以下：助産学科について記載			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	― 人	― 人	― 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	― 人	― 人	― 人
（備考） 右以外の大学等：看護学科について記載 専門学校修業年限2年以下：助産学科について記載			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。